



## 平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成19年1月31日

上場会社名 兼松株式会社

(コード番号：8020 東証・大証各第1部)

(URL <http://www.kanematsu.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 三輪 徳泰

問合せ先責任者 役職名 主計部長 氏名 作山 信好 TEL (03) 5440-8979

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無  
 ②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
 ③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有  
 連結(新規) 4社 (除外) 2社 持分法(新規) 1社 (除外) 2社  
 ④当第3四半期及び前第3四半期の数値については、監査法人による会計監査を受けておりません。

### 2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日～平成18年12月31日)

#### (1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切り捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	951,444	23.0	16,964	46.4	14,086	45.0	8,601	—
18年3月期第3四半期	773,648	17.7	11,587	1.6	9,712	14.9	△ 21,100	—
(参考) 18年3月期	1,104,726		17,982		15,709		△ 21,686	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第1四半期	20 55	—
18年3月期第1四半期	△ 51 18	—
(参考) 18年3月期	△ 52 43	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

当第3四半期の世界経済は、成長鈍化の懸念された米国経済が比較的順調に推移したこともあり、中国をはじめとするアジア地域の経済も再び活発化の兆しを見せ、堅調に推移しました。商品市況は引き続き高値圏にありましたが、天井知らずの上昇を続けていた原油価格は昨年7月をピークに落ち着きを取り戻しました。これらの外部要因にも支えられ、日本経済は昨夏のゼロ金利解除後も着実な成長を続け、戦後最長の景気拡大となりました。

こうした経済環境の中、当第3四半期の売上高は、商品価格が高値基調であったことと、連結グループの拡大による事業領域の拡張により、エネルギー、鉄鋼、食品・食糧、IT事業において増収となり、前年同期比1,778億円増加の9,514億円となりました。売上総利益は、引き続き高水準の利益率を維持し、売上高の増加に伴い、前年同期比192億円増加の758億円となり、営業利益も前年同期比54億円増加の170億円となりました。経常利益は、受取配当金や持分法投資利益が減少したものの、前年同期比44億円増加の141億円となりました。特別損益では、不動産や投資有価証券の流動化による売却益がありましたが、スキー場事業の撤退による損失や子会社において回収が懸念される特定事業債権に対する引当を実施したこと等から、差引15億円の利益となりました。その結果、当第3四半期の純利益は86億円となり、中期経営計画「NewKG200」の最終年度目標である100億円の達成に向け着実に推移いたしました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	566,716	49,529	6.1	82 03
18年3月期第3四半期	579,454	28,396	4.9	67 98
(参考) 18年3月期	556,046	26,004	4.7	62 12

(注) 18年3月期第3四半期及び18年3月期の数値については、従来の「株主資本」を「純資産」の欄に、「株主資本比率」を「自己資本比率」の欄に、「1株当たり株主資本」を「1株当たり純資産」の欄に記載しております。

当第3四半期末の総資産は、売上高の伸長に伴い営業資産が増加しましたので、前期末比107億円増加の5,667億円となりました。有利子負債につきましては、資産流動化の実行により、有利子負債から現預金を差し引いたネットベースで、前期末比328億円減少の2,135億円と更に圧縮が進みました。

3. 平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

世界経済は、全体的に安定した成長軌道にあるため、当面堅調に推移すると予想され、日本経済も円安基調にあるものの大きな波乱はなく、当面は安定した動きとなるものと思われまます。従いまして、平成18年9月期中間決算発表時(平成18年11月2日)に公表いたしました平成19年3月期の連結業績予想はそのまま据え置くことといたします。

(ご参考) 平成18年11月2日開示内容

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	1,200,000	18,500	10,000

なお、上記の見通しは、本資料の発表日現在における入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係わる仮定を前提としております。

従いまして、実際の業績につきましては、今後の様々な状況変化により、記載の予想とは大きく異なる可能性がありますことにご留意下さい。

# 連結損益計算書

兼松株式会社

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)		前第3四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)		増 減		(参 考) 前連結会計年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
I 売上高	951,444	100	773,648	100	177,796	23.0	1,104,726	100
II 売上原価	875,617	92.03	716,977	92.67	158,640	22.1	1,022,993	92.60
売上総利益	75,827	7.97	56,671	7.33	19,156	33.8	81,732	7.40
III 販売費及び一般管理費	58,863	6.19	45,083	5.83	13,780	30.6	63,750	5.77
営業利益	16,964	1.78	11,587	1.50	5,377	46.4	17,982	1.63
IV 営業外収益								
1 受取利息	1,199		717		482		1,290	
2 受取配当金	1,273		1,678		△ 405		1,702	
3 持分法による投資利益	712		1,009		△ 297		1,671	
4 その他	1,025		1,406		△ 381		2,064	
営業外収益計	4,211	0.44	4,812	0.62	△ 601	△ 12.5	6,728	0.61
V 営業外費用								
1 支払利息	6,138		5,955		183		7,909	
2 その他	949		731		218		1,092	
営業外費用計	7,088	0.74	6,686	0.86	402	6.0	9,002	0.82
経常利益	14,086	1.48	9,712	1.26	4,374	45.0	15,709	1.42
VI 特別利益								
1 有形固定資産等売却益	4,191		302		3,889		352	
2 投資有価証券売却益	974		1,418		△ 444		6,334	
3 貸倒引当金戻入益	481		740		△ 259		963	
4 事業譲渡益	—		1,370		△ 1,370		1,429	
特別利益計	5,647	0.59	3,832	0.49	1,815	47.4	9,080	0.82
VII 特別損失								
1 有形固定資産等処分損	394		60		334		311	
2 減損損失	102		14,532		△ 14,430		14,593	
3 投資有価証券売却損	192		57		135		110	
4 投資有価証券評価損	89		2,187		△ 2,098		2,971	
5 関係会社等事業整理損	105		489		△ 384		788	
6 特定事業用資産評価損	—		—		—		6,208	
7 関係会社等貸倒引当金繰入額	1,523		1,662		△ 139		2,081	
8 特定事業債権貸倒引当金繰入額	1,223		11,918		△ 10,695		13,410	
9 債務保証損失引当金繰入額	518		496		22		1,040	
特別損失計	4,149	0.43	31,404	4.06	△ 27,255	△ 86.8	41,517	3.75
税金等調整前四半期純利益又は 四半期(当期)純損失(△)	15,585	1.64	△ 17,859	△ 2.31	33,444	—	△ 16,728	△ 1.51
法人税、住民税及び事業税	3,611	0.38	1,678	0.22	1,933	115.2	2,866	0.26
法人税等調整額	2,298	0.24	439	0.05	1,859	422.6	785	0.07
少数株主利益	1,074	0.12	1,122	0.15	△ 48	△ 4.3	1,305	0.12
四半期純利益又は四半期(当期) 純損失(△)	8,601	0.90	△ 21,100	△ 2.73	29,701	—	△ 21,686	△ 1.96

# 連結貸借対照表

兼松株式会社

(単位：百万円)

科 目	当第3 四半期末 (平成18年 12月末)	前連結会計 年度末 (平成18年 3月末)	増 減	科 目	当第3 四半期末 (平成18年 12月末)	前連結会計 年度末 (平成18年 3月末)	増 減
(資産の部)				(負債の部)			
I 流動資産				I 流動負債			
1 現金及び預金	62,585	52,115	10,470	1 支払手形及び買掛金	176,221	160,900	15,321
2 受取手形及び売掛金	205,169	197,953	7,216	2 短期借入金	220,868	215,885	4,983
3 有価証券	-	0	△ 0	3 未払法人税等	1,507	1,302	205
4 たな卸資産	82,475	79,737	2,738	4 繰延税金負債	0	0	0
5 短期貸付金	5,143	13,552	△ 8,409	5 その他	44,432	36,305	8,127
6 繰延税金資産	3,602	4,380	△ 778	流動負債合計	443,030	414,393	28,637
7 その他	40,208	34,993	5,215	II 固定負債			
貸倒引当金	△ 1,213	△ 1,350	137	1 長期借入金	55,244	82,548	△ 27,304
流動資産合計	397,970	381,382	16,588	2 繰延税金負債	1,198	1,401	△ 203
II 固定資産				3 退職給付引当金	6,221	5,863	358
1 有形固定資産	45,759	51,041	△ 5,282	4 債務保証損失引当金	3,731	3,188	543
2 無形固定資産	8,311	3,905	4,406	5 その他	7,761	7,673	88
3 投資その他の資産				固定負債合計	74,156	100,675	△ 26,519
(1) 投資有価証券	72,398	74,991	△ 2,593	負債合計	517,186	515,068	2,118
(2) 長期貸付金	20,247	19,635	612	(純資産の部)			
(3) 固定化営業債権	33,752	35,000	△ 1,248	I 株主資本			
(4) 繰延税金資産	19,450	20,664	△ 1,214	1 資本金	27,781	-	-
(5) その他	11,951	11,058	893	2 資本剰余金	27,642	-	-
貸倒引当金	△ 43,125	△ 41,633	△ 1,492	3 利益剰余金	△ 7,891	-	-
投資その他の資産計	114,674	119,715	△ 5,041	4 自己株式	△ 619	-	-
固定資産合計	168,745	174,663	△ 5,918	株主資本合計	46,911	-	-
				II 評価・換算差額等			
				1 その他有価証券評価差額金	3,857	-	-
				2 繰延ヘッジ損益	225	-	-
				3 土地再評価差額金	58	-	-
				4 為替換算調整勘定	△ 16,721	-	-
				評価・換算差額等合計	△ 12,580	-	-
				III 少数株主持分	15,198	-	-
				純資産合計	49,529	-	-
				負債及び純資産合計	566,716	-	-
				(少数株主持分)			
				少数株主持分	-	14,972	-
				(資本の部)			
				I 資本金	-	27,781	-
				II 資本剰余金	-	27,641	-
				III 利益剰余金	-	△ 16,294	-
				IV 土地再評価差額金	-	58	-
				V その他有価証券評価差額金	-	4,816	-
				VI 為替換算調整勘定	-	△ 17,397	-
				VII 自己株式	-	△ 600	-
				資本合計	-	26,004	-
資産合計	566,716	556,046	10,670	負債、少数株主持分 及び資本合計	-	556,046	-

# セグメント情報

兼松株式会社

## 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期（自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日）

（単位：百万円）

	I T	食品・ 食糧	鉄鋼・ プラント	ライフサイエンス・ エネルギー	繊維	その他	計	消 去 又は全社	連 結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	253,219	207,540	179,442	242,204	42,759	26,277	951,444	—	951,444
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	37	0	8	59	—	74	179	(179)	—
計	253,257	207,540	179,451	242,263	42,759	26,351	951,624	(179)	951,444
営業費用	247,649	205,434	173,702	239,835	42,484	25,751	934,859	(378)	934,480
営業利益	5,607	2,106	5,748	2,428	274	599	16,765	198	16,964

前第3四半期（自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日）

（単位：百万円）

	I T	食 料	鉄鋼・ プラント	ライフサイエンス・ エネルギー	繊維	その他	計	消 去 又は全社	連 結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	207,283	138,915	167,896	207,789	40,414	11,348	773,648	—	773,648
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	33	1	122	48	—	100	306	(306)	—
計	207,317	138,917	168,019	207,838	40,414	11,448	773,955	(306)	773,648
営業費用	205,217	138,287	162,317	205,994	40,059	10,523	762,400	(339)	762,061
営業利益	2,100	629	5,701	1,843	354	924	11,554	33	11,587

前連結会計年度（自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日）

（単位：百万円）

	I T	食 料	鉄鋼・ プラント	ライフサイエンス・ エネルギー	繊維	その他	計	消 去 又は全社	連 結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	302,473	199,349	226,405	300,544	55,620	20,333	1,104,726	—	1,104,726
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	48	1	123	61	—	128	362	(362)	—
計	302,521	199,350	226,528	300,606	55,620	20,461	1,105,088	(362)	1,104,726
営業費用	297,488	198,644	218,572	298,116	55,196	19,379	1,087,397	(653)	1,086,743
営業利益	5,032	705	7,955	2,490	424	1,081	17,690	291	17,982

平成19年3月期 第3四半期 連結業績ハイライト

○当第3四半期は、前年同期比増収増益。

- ・「NewKG200」最終年度の当第3四半期の売上高は、9,514億円で前年同期比23.0%(1,778億円)の増収。
- ・売上総利益も売上高増加に伴い758億円となり、前年同期比33.8%の増益。
- ・営業利益は、170億円と、前年同期比46.4%の大幅増益。
- ・経常利益も141億円となり、前年同期比45.0%の大幅増益。
- ・当期純利益は、86億円を確保。

(単位:億円)

収益の状況	平成18年3月期		平成19年3月期			前年同期比		平成19年3月期見通し		実績の概要
	中間期	第1～第3 四半期累計	中間期	第3四半期	第1～第3 四半期累計	増減額	増減率	進捗率		
売上高	4,677	7,736	6,263	3,251	9,514	1,778	23.0%	12,000	79.3%	売上高、売上総利益 連結グループの拡大による事業領域の拡張により増収増益。
売上総利益	352	567	485	273	758	191	33.8%	—	—	販売費・一般管理費 連結対象会社の増加に伴う人員増及び事業領域の拡大により費用増加。
売上総利益率	7.5%	7.3%	7.7%	8.4%	8.0%	0.7%	—	—	—	
販売費及び一般管理費	272	451	364	224	588	137	30.6%	—	—	営業利益、経常利益 IT、食品・食糧部門を中心に増益。
営業利益	80	116	121	49	170	54	46.4%	—	—	
営業外収益	23	48	20	22	42	△6	△12.5%	—	—	特別増益 不動産や投資有価証券の流動化に伴い売却益があった一方、事業撤退による損失や子会社の特定事業債権への引当実施等により、差引15億円の利益。
営業外費用	44	67	47	24	71	4	6.0%	—	—	
経常利益	59	97	94	47	141	44	45.0%	185	76.1%	当期純利益 当期末見通しの100億円に対し着実に推移し86億円。
特別利益	23	38	54	2	56	18	47.4%	—	—	
特別損失	309	314	27	14	41	△273	△86.8%	—	—	
税金等調整前当期純増益	△227	△179	121	35	156	335	—	—	—	
当期純増益	△242	△211	63	23	86	297	—	100	86.0%	

(単位:億円)

事業別セグメント情報	売上高				営業利益				各セグメントの概要
	平成18年3月期 第1～第3 四半期累計	平成19年3月期 第1～第3 四半期累計	増減額	増減率	平成18年3月期 第1～第3 四半期累計	平成19年3月期 第1～第3 四半期累計	増減額	増減率	
IT	2,073	2,533	460	22.2%	21	56	35	167.0%	IT 兼松エレクトロニクスや新東亜交易の航空機部門の貢献もあり増収増益。
食品・食糧	1,389	2,075	686	49.4%	6	21	15	234.5%	食品・食糧 穀物関連取引が引き続き好調に推移。新東亜交易の自販機部門の効果もあり増収増益。
鉄鋼	932	1,046	114	12.3%	41	43	2	4.9%	鉄鋼・プラント 鉄鋼は、米国での石油・天然ガス採掘用パイプ取引が引き続き好調で増収増益。プラントは、工作機械取引を中心にほぼ順調に推移。
プラント	748	748	△0	△0.0%	16	15	△1	△9.5%	
鉄鋼・プラント	1,680	1,794	114	6.8%	57	58	1	0.8%	ライフサイエンス・エネルギー エネルギーは、夏場以降、石油製品価格が急落する中、効率的なタンクオペレーションによりマージン確保に努めた結果、増収増益。
エネルギー	1,864	2,183	319	17.1%	14	21	7	49.9%	
ライフサイエンス	214	240	26	12.0%	4	3	△1	△24.5%	繊維 OEM事業及び輸出関連が好調にて増収なるも一部ブランド事業への先行投資等により減益。
ライフサイエンス・エネルギー	2,078	2,423	345	16.6%	18	24	6	31.7%	
繊維	404	428	24	5.8%	4	3	△1	△22.6%	
その他	115	263	148	130.2%	10	6	△4	△35.1%	
消去又は全社	△3	△2	1	—	0	2	2	—	
合計	7,736	9,514	1,778	23.0%	116	170	54	46.4%	

(単位:億円)

資産・負債及び純資産の状況	平成18年3月末	平成18年12月末	平成18年3月末比 増減	増減率	概要	
総資産	5,560	5,667	107	1.9%	ネット有利子負債 圧縮に務めた結果、中間期における当期末目標の2,200億円をクリアし、2,135億円。更なる圧縮を図る。	
ネット有利子負債	2,463	2,135	△328	△13.3%		
株主資本	385	469	84	21.8%		株主資本 当期純利益により増加。 その結果、自己資本比率は6.1%、ネットDERは6.2倍に改善。
評価・換算差額等	△125	△126	△1	0.5%		
少数株主持分	150	152	2	1.5%		
純資産合計	410	495	85	20.9%		
自己資本比率(注1)	4.7%	6.1%	1.4%	—		
ネットDER(倍)(注2)	9.5	6.2	△3.3	—		

(注1)自己資本比率=(純資産-少数株主持分)/総資産 (注2)ネットDER=ネット有利子負債/(純資産-少数株主持分)